

「送信機測定方法ハンドブック」

2.1 版への主な修正箇所

全体的にエディトリアルな修正と曖昧な表現の訂正、追加、削除等を実施した。以下にその主なものを記す。

- 1 . 4.3.2、5.3.2、6.3.2 の各項「信号電力」の測定において、測定帯域幅を 5.6MHz に修正・統一
- 2 . 4.3.4、5.3.4、6.3.4 の各項「スペクトルマスク」において、一部記述を追加・修正するとともに、6.3.4 項に送信スペクトルマスクの図（図 6-9）を追加
- 3 . 4.3.5、5.3.5、6.3.5、7.3.5 の各項のタイトルを「不要発射」に変更し、一部記述を修正・変更
- 4 . 4.3.7、5.3.7、6.3.7、7.3.7 の各項「位相雑音」において、一部用語の誤りを訂正および記述を修正
- 5 . 4.3.8、5.3.8、6.3.8 の各項「振幅周波数特性」において、一部記述を修正・追加
- 6 . 4.3.9 項「群遅延時間特性」において、一部記述を修正、追加
- 7 . 5.3.18 項「MER 特性」において、注 2) の一部を訂正
- 8 . 5.3.21、6.3.21、7.3.21 の各項「入力検知動作」において、一部記述を修正・追加
- 9 . 5.3.22、6.3.22、7.3.22 の各項「雑音指数」において、一部記述を修正・追加
- 1 0 . 5.3.23、6.3.23、7.3.23 の各項「IRF 特性」において、一部記述を修正・追加、図を一部修正
- 1 1 . 6.3.11 項「相互変調歪」において、一部記述を削除
- 1 2 . 6.3.20、7.3.20 の各項「AGC 特性」において、一部記述を追加
- 1 3 . 7.2 節「測定項目」において、表 7-1 中の「10 遅延時間」、「工場検査又は保守時」を「 」に訂正
- 1 4 . 7.3.4 項「スペクトルマスク」において、図 7-7「スペクトルマスク」を修正
- 1 5 . 7.3.12 項「ガウス雑音対ビット誤り率特性」の(4)、1)において「OFDM」を「6 4 QAM」に訂正
- 1 6 . 7.3.13 項「入力電界対ビット誤り率特性」において、一部記述を削除
- 1 7 . 9.4 節「MCPA (Multi-Channel Power Amplifier) の相互変調歪測定について」において、文中の図面番号を訂正。また、図にキャプションを追記
- 1 8 . 9.5 節「スペクトラムアナライザの設定一覧」において、表中の一部記述を修正・追加
- 1 9 . 用語「ISDB-T アナライザ」を「ISDB-T 信号アナライザ」に変更・統一

以上